

「フリーWi-Fi」の危険性について

インターネット機器を無線でインターネットに接続する技術のことをWi-Fi（ワイファイ）といいます。このWi-Fiを誰でも無料で利用することができる「フリーWi-Fi」というサービスが提供されている場所が増えてきました。

インターネット機器さえあれば外出先でも気軽にインターネットを利用できるため、とても便利ですが、「フリーWi-Fi」には危険性もあります。今回はそんな「フリーWi-Fi」のことをお話します。

「フリーWi-Fi」の使い方

「フリーWi-Fi」が提供されている場所はさまざまです。空港や駅をはじめ、商業施設、カフェ、ファストフード店、病院、コンビニなどでも提供されています。そうした場所で、インターネット機器のWi-Fi機能をオンにすると、接続可能なWi-Fiサービスが自動的に検索されます。そのサービスに接続すれば、インターネットが使えるという仕組みです。（ただし、メールアドレスを登録したり、店内でパスワードを教えてもらったりしないと「フリーWi-Fi」を利用できない場合もあります）



「フリーWi-Fi」の利用にはどのような危険性があるのか

「フリーWi-Fi」のセキュリティレベルはばらばらです。中には、セキュリティ対策が不十分なものもあります。そのため、「フリーWi-Fi」を利用することで以下のような被害を受ける可能性があります。

- ・閲覧したサイトの履歴やメールの内容、サービス利用時に入力したパスワードなどの通信内容を盗み見られる
- ・不正サイトに誘い込まれてウイルスに感染し、インターネット機器に保存している連絡先や個人情報、写真・動画などをコピーされ悪用される

上記のような危険性を減らすための対策

- ・インターネット機器にセキュリティソフトを導入するなどの対策をしておく
- ・提供元が確認できない「フリーWi-Fi」は使わない
- ・「フリーWi-Fi」を利用するときは、個人情報の入力が必要なページ・アプリは使わない
- ・知らないあいだに提供元不明の「フリーWi-Fi」に接続してしまうことを防ぐため、Wi-Fiを使わないときはインターネット機器のWi-Fi機能をオフにしておく

「フリーWi-Fi」の利用には危険性がひそんでいることを理解し、利用する際はその危険性を減らすための対策を自身でおこなうことを心がけましょう。